



会長のあいさつ



リニア中央新幹線・JR複線電化
推進亀山市民会議 会長

亀山市長 櫻井 義之

陽春の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、リニア中央新幹線の整備につきましては、東京・大阪間のうち、2027年の東京・名古屋間の先行開業に向けて、各地で建設工事が進められております。また、名古屋・大阪間の整備につきましても、全線開業の最大8年間の前倒しに向けた総額3兆円にも及ぶ財政投融资の活用による国の支援が実施されるとともに、事業主体においては名古屋以西の専任担当部長が設置され、環境影響評価実施を見据えた各府県との情報交換が行われております。このように、リニア中央新幹線の整備は、国家的プロジェクトとして、着実に前進しており、「夢」から「現実」への新たなステージの段階にきております。

一方、在来線につきましては、昨春にJR東海 関西本線のIC乗車券サービスの利用可能エリアが拡大され、利便性が大きく向上しました。また、来春にはJR西日本 関西本線においてもIC乗車券サービスの利用可能エリアの拡大が予定され、さらなる利便性の向上が期待されます。これを契機により一層の鉄道利用を図っていただき、在来線の利便性向上につなげてまいりましょう。

当市民会議といたしましても、引き続き、リニア中央新幹線の全線早期開業、“リニア亀山駅”の実現、そして、発足当初からの目標である関西本線、紀勢本線の利便性向上に向け、関係機関と協力しながら、幅広い活動を精力的に展開してまいりますので、今後とも、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

リニア中央新幹線がもたらすインパクト ～スーパー・メガリージョンの形成～

リニア中央新幹線の実現によって形成されるスーパー・メガリージョン（巨大都市圏）によりもたらされる効果等についてご紹介します。

出典：リニア中央新幹線建設促進期成同盟会、国土交通省

リニア中央新幹線とは

リニア中央新幹線は、東京都から甲府市附近、赤石山脈(南アルプス)中南部、名古屋市附近、奈良市附近を経由し大阪市までの約438kmを、我が国独自の技術である超電導リニアによって結ぶ新たな新幹線です。

世界でも有数の人口集積地域である三大都市圏を、超電導リニアにより新しいルートで結ぶリニア中央新幹線は、沿線地域のみならず我が国全体に活力をもたらす国家的プロジェクトです。

リニア中央新幹線が開業すれば、東京・名古屋間を40分、東京・大阪間を67分で移動することができるようになります。日本人のライフスタイルを変えるきっかけとなることが期待されています。

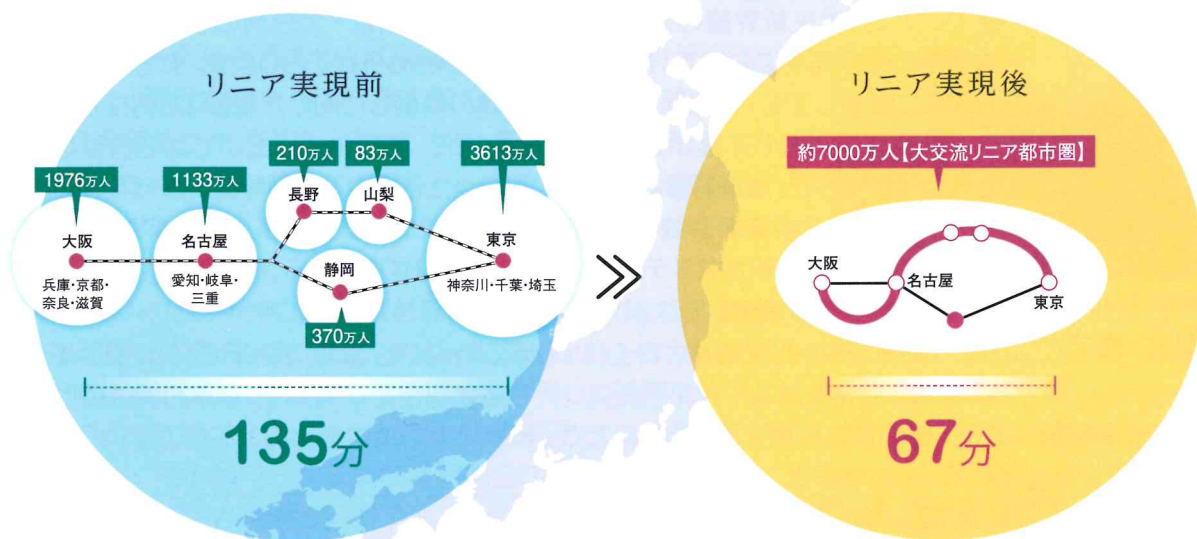
リニアインパクト — 7千万人の大交流リニア都市圏 —

リニア中央新幹線は、東京・大阪間を約1時間で結び、数百kmという距離の壁をなくします。このため、約7千万人の人口が集中し、経済や文化の活力がみなぎった地域があたかも一つの都市のように機能する大交流リニア都市圏が誕生します。

これにより、東京圏、名古屋圏、関西圏の3大都市圏がそれぞれの特色を発揮しつつ一体化し、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き付け、世界を先導するスーパー・メガリージョンを形成し、各都市圏間の経済、産業、文化等が対流・融合することで新たなイノベーションが創出されていくことが期待されています。

また、リニア中央新幹線中間駅の活用により、これまで大都市都心部でのみ立地可能であった都市機能が沿線地域においても立地する可能性が高まり、人々のライフスタイルに変化をもたらすなど、様々な波及効果を生み、暮らしの質の向上や経済活性化をもたらします。

7千万人大交流リニア都市圏のイメージ図



※「大交流リニア都市圏」は、「中央新幹線沿線学者会議『リニア中央新幹線で日本は変わる』2001年8月」を参考に、東海道・中央新幹線の15都府県を想定。
※人口は、2015年（H27）国勢調査人口等基本集計結果に基づき作成。

リニア中央新幹線のルート



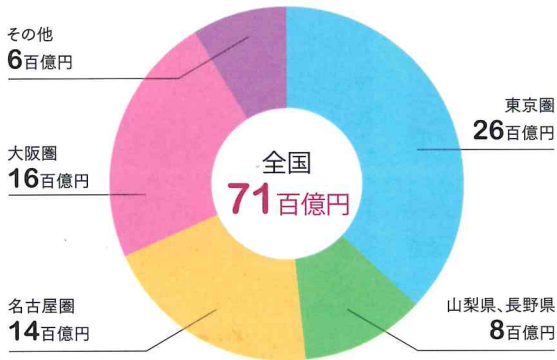
リニアインパクト —リニア中央新幹線実現による経済効果—

リニア中央新幹線の実現は、企業の生産活動や世帯の所得・消費活動に影響を与え、大きな経済効果をもたらします。

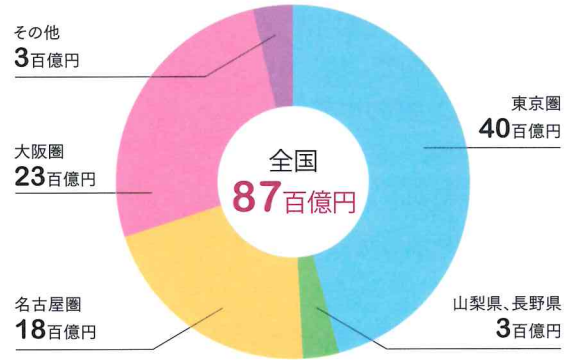
交通政策審議会における分析によれば、利用者の所要時間短縮などの利便性向上等を貨幣換算した「便益」は、東京・大阪間の開業時点において1年あたり7,100億円と推測されています。

また、移動時間が短縮され、出張費が効率化し生産コストが低下することで、世帯の消費や旅行関連財の消費が拡大することなどにより、全国で生産額が8,700億円増加すると推測されます。

リニア中央新幹線の実現による1年あたりの便益



リニア中央新幹線の実現による1年あたりの生産額の変化



出典：交通政策審議会中央新幹線小委員会（第9回）資料より
 ※東京圏：茨城、埼玉、千葉、東京、神奈川 ※名古屋圏：静岡、岐阜、愛知、三重 ※大阪圏：滋賀、京都、奈良、和歌山、大阪、兵庫
 ※空間的応用一般均衡モデルによる。建設投資による経済波及効果は含まれない。

リニア中央新幹線中間駅周辺地域から始まる新たな地方創生

リニア中央新幹線によって、三大都市圏が結ばれることにより、その間に位置する中間駅は、多様な人材が活発に行き交いクリエイティブな交流が生まれる、三大都市圏とは異なる新しい知的対流拠点となる可能性を秘めています。そして、そこで創出される高度な付加価値が、周辺地域の魅力と融合することで、地域の強みを活かした新しい産業の創出や、既存産業の高付加価値化に寄与することが期待されています。

また、リニア中央新幹線による劇的な時間短縮により、ICTを活用した多様な働き方やジョブ型雇用等の普及と相まって、大都市で働きながら自然豊かな地域で暮らしたり、ライフステージに応じた住み替え先となるなど、新たな居住の選択肢を提供する地域に発展していくことも期待されています。

当市民会議は、昭和42年5月に、国鉄複線電化の推進を目的に、亀山市長を会長とした市民各会代表による「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足しました。平成4年にはリニア中央新幹線の早期実現と市内停車駅誘致を活動目標に追加し、平成13年から平成18年までは市民対象のリニア試乗会を開催するなど様々な取り組みを展開してきました。

今後も「LINEAR TO KAMEYAMA～新たなステージ、夢から現実へ!!」を合言葉にリニア中央新幹線の市内停車駅誘致、亀山市を中心とした複線電化の促進を目指し、関係機関と連携した強力な推進運動を展開していきます。

年 表

昭和42年	「国鉄複線電化推進亀山市民会議」として発足
昭和62年	国鉄の民営化に伴い、「JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成4年	複線電化推進活動にリニア誘致を位置づけ
平成6年	「リニア中央エクスプレス・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更
平成13年	市民対象のリニア試乗会を開始（～平成18年）
平成21年	「リニア中央新幹線・JR複線電化推進亀山市民会議」に名称を変更

令和元年度の活動状況

▶ 総会・講演会

令和元年7月25日（木）、亀山市文化会館において、令和元年度の総会を開催しました。総会では、昨年度の事業報告や令和元年度の事業計画が承認されました。

また、総会終了後には、中部圏の総合的なシンクタンクとして調査・研究を行う公益財団法人中部圏社会経済研究所 研究顧問の藤井良直氏をお招きし、「リニア時代の中部圏、三重県について」と題し、リニア中央新幹線開業による経済効果と今後の展望についてご講演いただきました。人口減少、生産年齢人口の減少社会となる中で、リニア中央新幹線が実現した際の中部圏や三重県の産業や観光への影響や地域づくりの方向性等についてわかりやすく講演いただきました。



総会



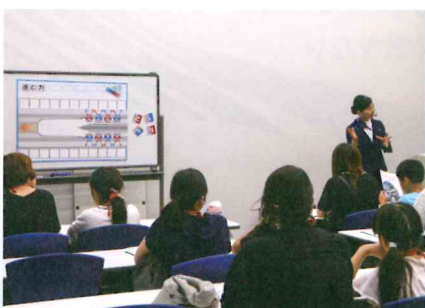
講演会

▶ リニア・鉄道 親子学習会

令和元年8月24日（土）にリニア・鉄道親子学習会を開催しました。今回の学習会には、16組37名の方が参加し、名古屋市にあるリニア・鉄道館とでんきの科学館を訪れました。

リニア・鉄道館では、JR職員から超電導リニアの仕組みなどの説明を受けた後、迫力ある展示車両の見学などを行いました。また、でんきの科学館では、体験型ブースを回り、親子一緒に楽しみながら電気や磁力について学びました。

帰りのバス車内では、学習会のおさらいを兼ねたリニアクイズを実施しました。クイズを出題すると、たくさんのお子様たちから「はい!」と元気な声とともに手が挙がり、学習会を通じてリニアに関する興味や理解を深めたようでした。



リニア・鉄道館 講義室



館内見学の様子



でんきの科学館

▶ 青少年のための化学の祭典

令和元年11月9日(土)、青少年のための科学の祭典 第16回亀山大会に工作ブース「木製リニアを作ってみよう!!」を出展しました。

当日は家族連れを中心に1,000人以上の来場があり、たくさんのお子様たちが模型の展示や木製リニアの作成を通じて磁力による超電導リニアの浮上の原理を楽しみながら学びました。

子どもたちは木製リニアを作りながら、「リニアができれば、どこへ遊びにいこうか」など、リニアへの期待に胸をふくらませていました。



青少年のための科学の祭典



木製リニア

▶ 中央要望

令和2年2月6日(木)・7日(金)、リニア中央新幹線の市内停車駅の誘致、複線電化の促進を求め、国や関係機関に対して要望活動を実施しました。

〈要望内容〉

○リニア中央新幹線

- ・三重・奈良ルートによる全線早期開業
- ・亀山市への停車駅の決定 など

○複線電化

- ・亀山駅を中心とした複線電化の早期着手
- ・車両の増両・増便、乗継時間の改善等による利便性の向上 など



要望風景

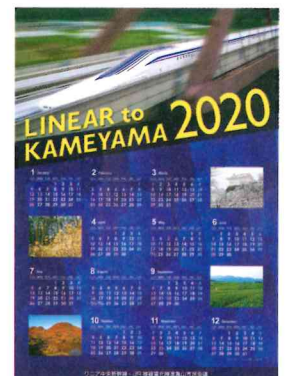
▶ PR活動

PRカレンダー・会報の発行や成人式などの市のイベント等でのPRグッズの配布等により、リニア中央新幹線の早期実現、市内停車駅の誘致に向けての機運醸成に取り組んでいます。

今後も市内外に当会議の活動について広く周知し、リニア市内停車駅の誘致等の活動を進めていきます。



リニア亀山中間駅 イメージパース



PRカレンダー 2020

▶ 関係団体等との連携

リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会をはじめとする関係団体等と協調し、三重・奈良・大阪ルートでの一日も早いリニア中央新幹線の全線(東京・大阪間)早期開業に向けた活動を行っています。今年度は下記の会議等に出席しました。

- ・リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会
令和元年6月6日(木) 東京都
- ・リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会総会
令和元年7月2日(火) 三重県津市
- ・三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会
令和元年12月25日(水) 奈良県



リニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会総会

▶ 会員一覧

団体会員(順不同)

亀山市
 亀山市議会
 亀山市教育委員会
 亀山市農業委員会
 亀山市自治会連合会
 亀山ライオンズクラブ
 亀山ロータリークラブ
 亀山商工会議所
 (一社)亀山青年会議所
 亀山青年会議所シニアクラブ
 鈴鹿農業協同組合亀山地区
 三重茶農業協同組合
 亀山市婦人会連絡協議会
 亀山地区労センター
 (一社)亀山市観光協会
 鈴鹿森林組合
 (一社)三重県建設業協会 亀山支部
 亀山地区労働者福祉協議会
 亀山市地域まちづくり協議会連絡会議

[19団体]

企業会員(五十音順)

アパホテル<三重亀山>
 (株) 安全
 (有) いとう弁当店
 (株) エイチワン 亀山製作所
 NTNアドバンスマテリアルズ(株)
 カメヤマ(株)
 亀山瓦斯(有)
 亀山急送(株)
 (株) 亀山ショッピングセンター
 亀山製絲(株)
 北伊勢上野信用金庫 亀山支店
 協同油脂(株) 亀山事業所
 高圧昭和ボンベ(株)
 好福堂
 (有) 小菅金物
 (株) 三扇
 (株) ジェイテクト 亀山工場
 島内建設(株)
 シャープ(株) 亀山事業所
 昭和パックス(株) 亀山工場
 白川建設(株)
 (有) シラカワ
 鈴鹿インター(株)
 (株) スチールセンター 亀山事業所
 (株) セキデン
 (株) 大紀アルミニウム工業所 亀山工場
 (株) 第三銀行 亀山支店
 (株) タクティール 亀山物流センター

田島シルク(株)
 中田運輸(株)
 中部電力パワーグリッド(株) 鈴鹿営業所
 東海労働金庫 亀山支店
 東洋電装(株) 亀山工場
 (株) 栃木屋
 (株) 豊田自動織機
 (株) 長田建材店
 (有) ニシムラ
 日東電工(株) 亀山事業所
 パナック(株) 亀山工場
 (株) 百五銀行 亀山支店
 (株) プラザチェーン
 古河電気工業(株) 三重事業所
 堀田建設(株)
 (株) ホンダオート 三重亀山店
 マルミ化粧品店
 (株) 三重銀行 亀山中央支店
 (株) ミヤガク中京(カメヤマドライバースクール)
 (株) 宮長
 (有) むかい
 (株) 村山ガス
 (有) 保田ガラス店
 柳河精機(株) 亀山工場
 山川運輸(株)
 (株) ヤマシタ 三重事業所
 (株) 米津グリーンメンテ
 リケンテクノス(株) 三重工場

[56社]

在来線 ~もっと乗って!もっと便利に!~

昨年3月にJR東海 関西本線のIC乗車券サービスの利用可能エリアが拡大され、関西本線 名古屋・亀山間の全区間において、TOICAなどのIC乗車券が利用できるようになり、利用者の利便性が大きく向上しました。また、来春にはJR西日本 関西本線のIC乗車券サービス利用可能エリアが拡大され、亀山・笠置間においてもIC乗車券サービスが利用可能となる予定です。

紀勢本線へのIC乗車券サービスの利用可能エリアの拡大や関西本線・紀勢本線の複線電化に向け、これまで以上に鉄道の利用を増やし、さらなる利便性の向上につなげていきましょう。

当市民会議では、引き続き、「もっと乗って!もっと便利に!」を合言葉に、鉄道利用の促進を図り、JR利便性の向上に向けた取り組みを積極的に進めていきます。

